

国労東日本運輸協議会

安全は輸送業務の最大の使命である

牽

引

発行責任者 木立 幸夫

編集責任者 後藤 征二

2008年5月12日

第50号

水戸運輸協主催花見交流会開催！



4月28日(月)水戸運輸協議会主催の交流会(お花見)が、水郡線沿いの「静公園」内で開催されました。

当日は、晴天とまではいきませんでした。まずまずのお天気の中、満開の八重桜を肴に交流会が行われました。水戸運輸職場の方々・OBの皆さん、そして東京からも東日本運輸協・木立議長、東京運輸協・中里議長を始め、松戸運輸区の方々や、このたびエルダー社員として勝田車両セ

ンターに行かれる人などなど総勢28名の参加者のもとで交流会が開催されました。

水戸運輸協・菊池議長より挨拶をうけ、その後予定されていた地本・佐藤委員長が急の用事で参加できなくなり、坂本執行委員が地本代表としての情勢報告を要点を抑えてしていただき、その後エリア運輸協木立議長・東京運輸協中里議長等の挨拶を受け、乾杯の後和やかな懇談に移りました。

交流では、各職場からの参加者一人ひとりの挨拶を受け、この間の職場での変化等出され、中でも、長年の取組みであった遠距離通勤者の解消問題で、一部解決がなされた報告があり、皆自分のことのように喜び合いました。

また、和解後の貨物職場で組織拡大の取組みについても、活発な議論が出されました。続く職場報告では、東日本会社が出した施策「ライフサイクルの深度化」について、首都圏7支社のひとつである水戸で平成採運輸士について、現在、現場長と面談している段階であるがこのままでは駅に行かざるをえない状況等各運輸区の報告があり、今こそ国労の出番だと、この水戸の地でも組織拡大に一段と力を入れて取り組もうと誓い合った。あれやこれやであったという間に約束の時間が来て楽しく 団結を固めました。

忙しい中準備してくれました水戸地本機関役員、職協の皆さん、ありがとうございました。

また、わざわざ手料理を用意してくれた家族の皆さんにこの紙面を借りましてお礼申し上げます。



仲間の